

事業所名: グループホームおくら

作成日: 平成 31 年 3 月 5 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	・様々な「地域の達人」の協力を頂き、培ってこられた役割をホームで発揮して頂く方法を検討するとともに、会議の回数を増やしていく予定である。	・地域住民の様々な経験や得意分野をホーム運営に積極的に活用していく。	・スタッフ、管理者ともに「地域の達人」を発掘し、リスト化したうえで「運営推進介護」にも参加して頂き、「地域の達人」がホームにどのような形で役割を発揮できるか検討する。	6 ヶ月
2	11	・人員体制が限られており、専務と管理者の協力体制も強化している。今後は法人内の主任介護を定期的に行い、現状の共有を行うとともに、職員個々が楽しく笑顔で業務ができる体制を整えていく。	・専務、管理者、スタッフ間の現状共有を行い、スタッフの高齢化や限られた人材等の課題に対応していく。	・これまでのユニット別の会議とは別に管理者、各ユニット主任等の横断的会議を行い、ユニットの垣根を越えた全体課題への柔軟な対応ができるよう取り組んでいく。	12 ヶ月
3	26	・日常生活動作(ADL)や家事等の能力(できること、できそうなこと等)、認知能力、介助の理由等の記録をアセスメントに追加し、介護計画に生かしていく。	・家事等の能力、介助の理由をチェックするだけでなく、より具体的に分析し具体的に文章化して追記する。	・ミーティング、自己チェック表での現場職員の声を今まで以上に重視するため、個別記録を作成し、アセスメントに活かしていく。	6 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月